

2014年3月期 決算説明会

株式会社 メルコホールディングス（6676）

2014年5月16日

本日の内容

- 1.2014年3月期 決算概要
- 2.2014年3月期 重点取組みのご報告
- 3.2015年3月期 業績見通し
- 4.メルコグループのご紹介

2014年3月期 決算概要

連結子会社の事業年度等に関する事項

当社は、従来、海外子会社9社については各社の決算日における財務諸表を使用しておりましたが、当連結会計年度より、6社については決算日を連結決算日に変更し、3社については連結決算日現在で決算に準じた仮決算を行った財務諸表を使用する方法に変更しております。これらの変更により、海外子会社9社については、当連結会計年度における会計期間は、平成25年1月1日から平成26年3月31日までの15ヶ月間となっております。

これらの変更は当社グループの連結業績を適切に把握するため、海外子会社における決算体制及び当社における連結決算体制の整備を進めてきた結果、当連結会計年度末において対応が可能となつたため行ったものです。

この結果、従来の方法に比べ、売上高は4,133百万円増加、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ87百万円、74百万円、76百万円減少しております。

本説明資料の数値類は、上記実績を含んでおります。

2014年3月期 決算のポイント

1. 周辺機器市場と海外売上縮小による減収

PC及び薄型テレビ販売台数減に伴う周辺機器市場の縮小と、
海外での低収益製品の販売抑制等により減収



2. 利益改善への取り組みによる増益

粗利率改善、赤字事業縮小、ロスコスト及び販管費削減の
重点取組みが奏効し増益



3. 筋肉質な体制への取組みは道半ば

全社あげて構造改革を推進し、ムダの削減に寄与するも
道半ばで、来期抜本的な改革を目指す



2014年3月期 連結決算P/L

売上高：国内での市場規模の影響と海外における販売構成の変更等により減収
 営業利益：粗利率の向上、構造改革等により増益

単位：億円	1303期	1403期	前期比	差異
売上高	1,026	1,012	▲1.4%	▲14
営業利益 (率)	17 (1.7%)	28 (2.8%)	66.6%	+ 11
経常利益 (率)	25 (2.4%)	36 (3.5%)	41.6%	+ 11
当期純利益 (率)	14 (1.4%)	21 (2.1%)	48.5%	+ 7

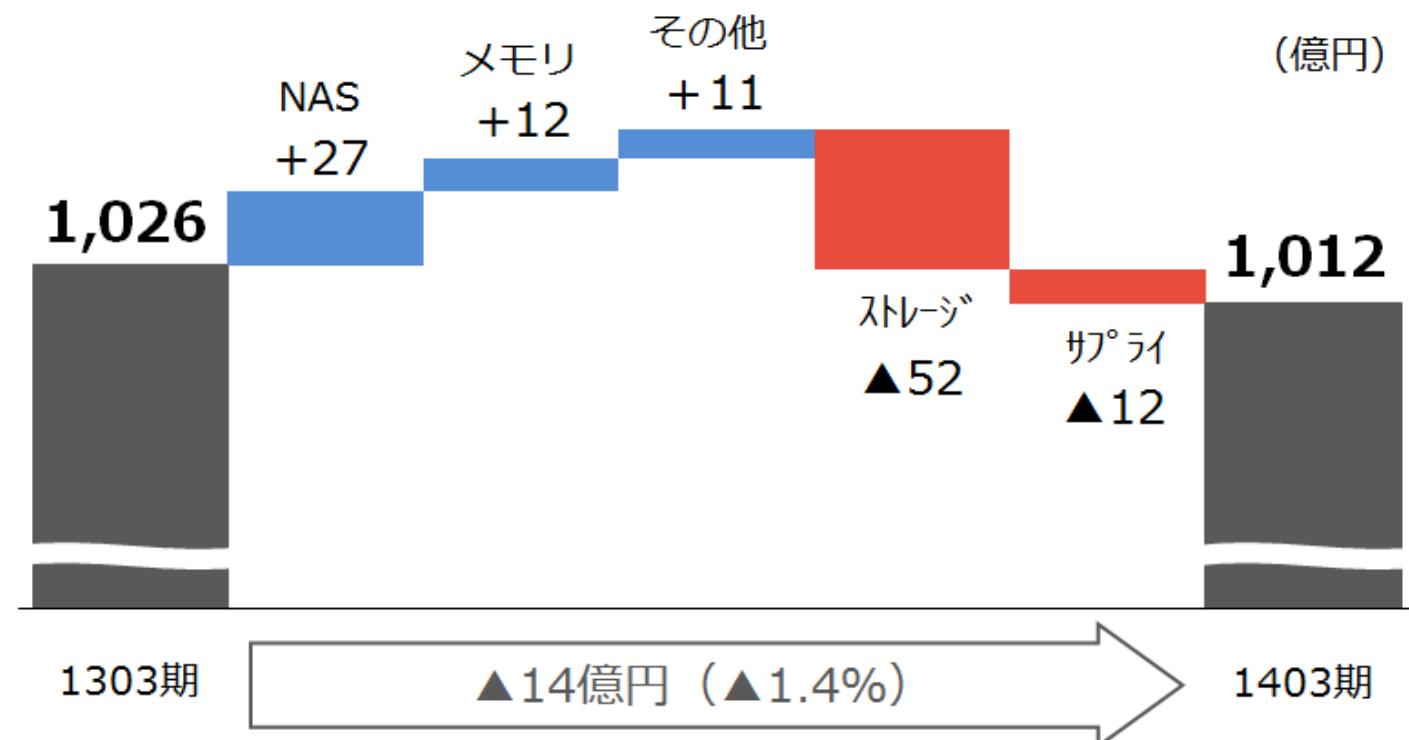
カテゴリ別売上高分析

増収
50億円

国内：メモリのDRAM価格に連動した販売価格の適正化
海外：法人向けNASの販売増加

減収
64億円

国内：ストレージ及びサプライ製品の販売減少
海外：低収益製品(外付けHDD)の販売抑制

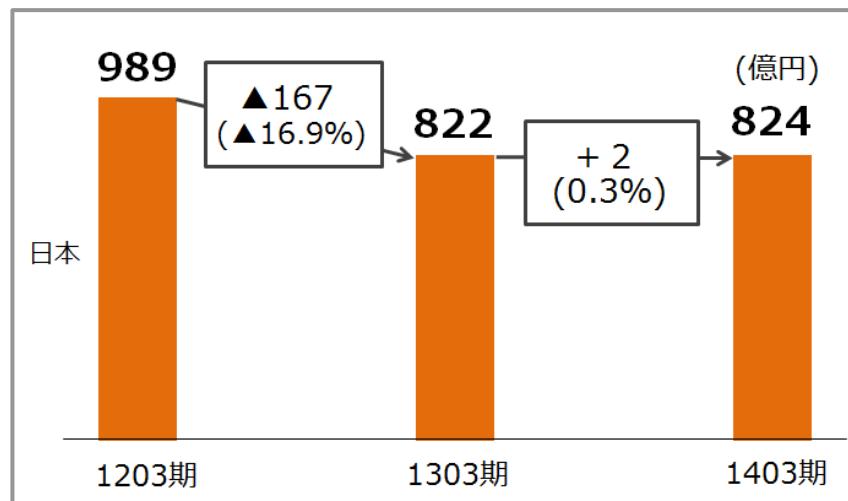


地域別売上高推移

単位：億円	日本	アジア・オセアニア	北米・中南米	欧州	合計
売上高 (前期比)	824 (0.3%)	49 (▲47.0%)	64 (38.4%)	75 (12.8%)	1,012 (▲3.7%)

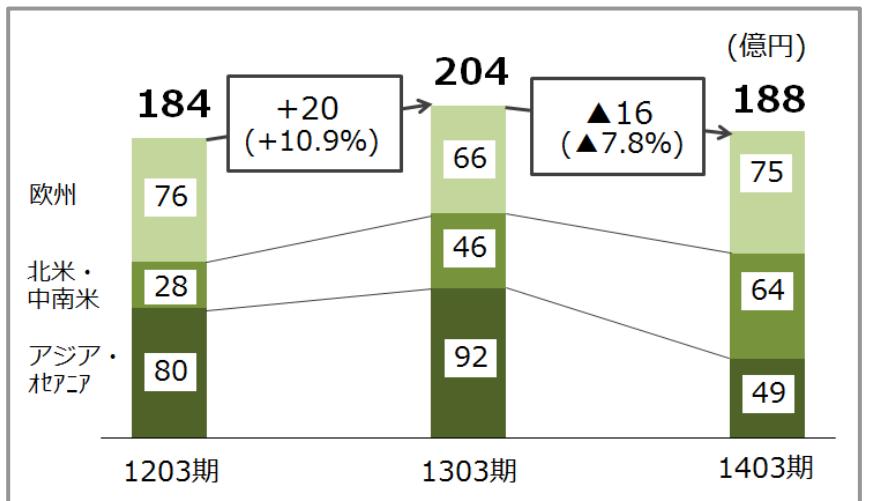
<日本>

周辺機器市場縮小による個人向け製品の減収分を法人向け製品の販売強化で補い増収



<海外>

アジアでは中国事業の全面的見直し等で減収、他地域では法人向けNAS拡販等により増収



連結決算 B/S

単位：百万円	1303期末	1403期末	差異
流動資産	64,964	63,810	▲1,154
現金及び預金	12,817	9,561	▲3,256
受取手形及び売掛金	17,256	12,546	▲4,710
棚卸資産	11,742	10,188	▲1,554
その他の流動資産	23,149	31,515	+8,366
有形・無形固定資産	1,822	2,255	+433
投資その他の資産合計	4,340	1,410	▲2,930
資産合計	71,128	67,475	▲3,653
流動負債	26,870	22,179	▲4,691
支払手形及び買掛金等	19,780	15,336	▲4,444
未払法人税等	486	1,127	+641
その他の流動負債	6,604	5,716	▲888
固定負債	2,561	2,224	▲337
負債合計	29,432	24,403	▲5,029
純資産合計	41,696	43,071	+1,375
負債純資産合計	71,128	67,475	▲3,653

2014年3月期 重点取組みのご報告

重点取組みのポイント

1. 粗利率改善の取組み

高付加価値製品の投入及び営業活動強化・拡販を実施



2. 赤字事業縮小の取組み

来期に向けた海外事業の足固めのため、海外での不採算製品の販売抑制と不採算地域の縮小を徹底的に実施



3. ロスコスト及び販管費削減の取組み

全社あげて構造改革を推進し、ムリ・ムダ・ムラの徹底排除を実施



1.粗利率改善の取組み

高付加価値製品の投入及び営業活動強化・製品拡販を実施

高付加価値製品の投入

■個人向け



高速無線規格
11ac対応無線LAN



DLNAリモート
アクセス対応
NAS



車探索システム
「見つCar～る」

■法人向け



エンタープライズ向け
ビジネスNAS



保守パック付き
ビジネスNAS

営業活動強化・製品拡販

■国内



VARパートナー数千社を有し法人向け製品を
拡販、法人向け売上が前期比約18%増加

■海外



法人向けNASの拡販で前期比47%売上増加、
米国ではお客様満足度調査で金賞受賞

2. 海外赤字事業縮小の取組み

来期に向けた海外事業の足固めの為、海外での不採算製品の販売抑制と不採算地域の縮小等を徹底的に実施

不採算製品の縮小

価格競争が激しい外付けHDDの販売抑制を行い売上台数は、前期比約44%縮小



不採算地域の縮小

- Buffalo Tech do Brasil Ltd.の休眠化等を実施
- 中国事業の全面的見直し



縮小等に伴うコスト増

- 流通在庫に対する補填や返品といったロスが発生
- 販売体制再編に対する費用の発生

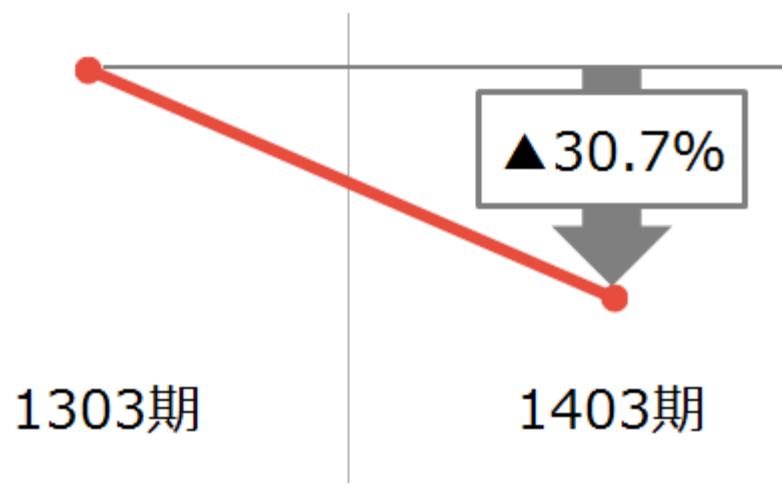
⇒ 来期利益改善につなげる

3.ロスコスト及び販管費削減の取組み

全社あげて構造改革を推進し、ムリ・ムダ・ムラを徹底排除。
削減はできたものの、抜本的な改革は来期の課題

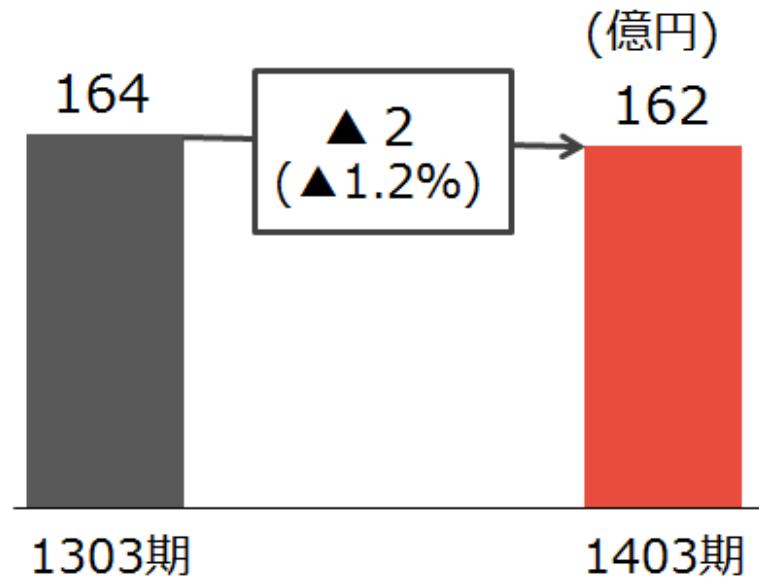
ロスコストの徹底削減

在庫補償・評価損・廃棄損の
削減により前期比約31%減



販売管理費の徹底削減

部門経費の見直しを行い、
前期比約 1 % (約 2 億円) 減



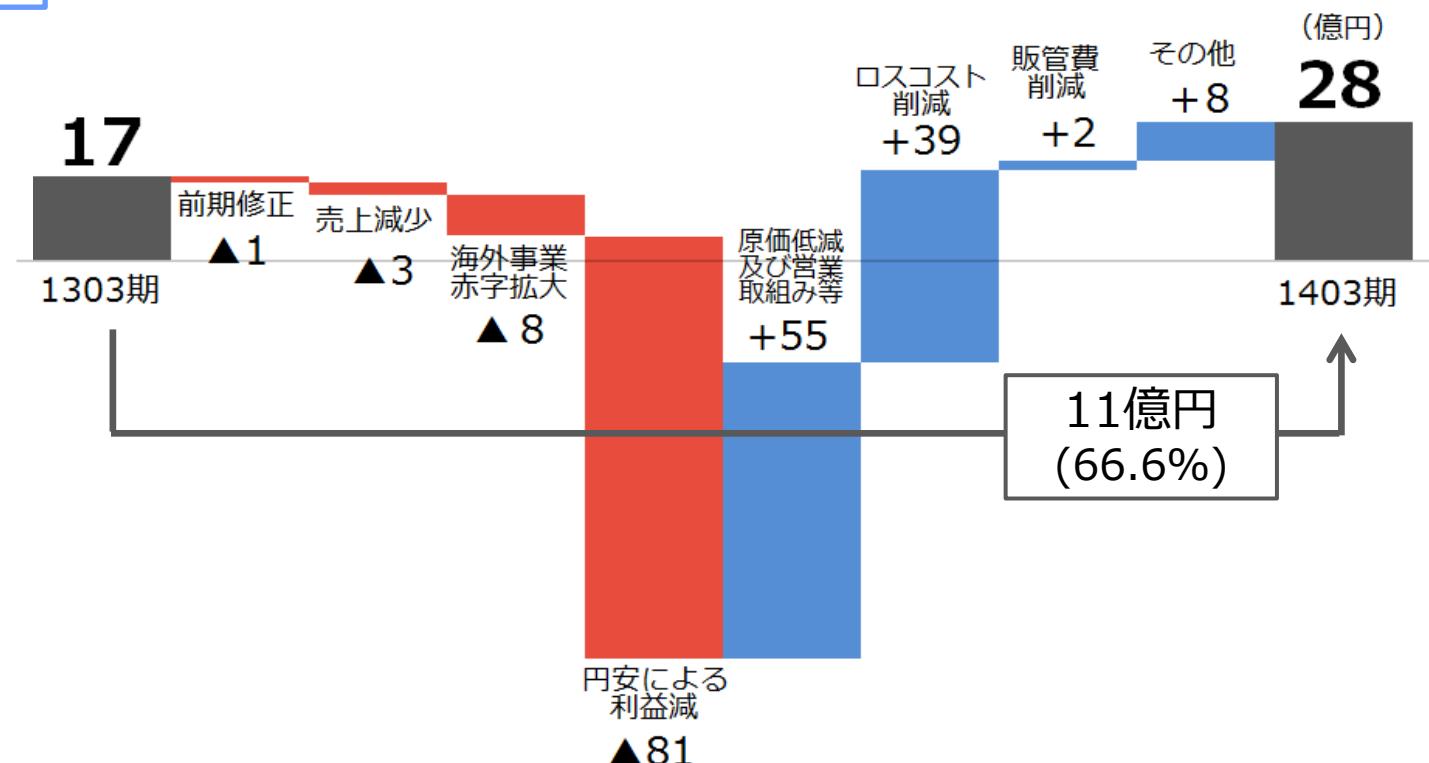
営業利益分析

減益
93億円

円安進行による原価高の影響が最も大きく81億円の利益減少

増益
104億円

原価低減及び営業取組み等やロスコストの削減などにより利益増加



2015年3月期 業績見通し

2015年3月期 年間業績見通しのポイント

1. 売上高は前期を下回るが営業利益は上回る

売上高 : 900億円 (前期比 : ▲11.1%)

営業利益 : 50億円 (前期比 : 77.8%)



2. 為替は引き続き円安傾向を見込む

為替レートは、1ドル=上期106円、下期109円を想定



3. 経営体質強化を基盤とし成長への布石を打つ

業務改善を推進すると共に、既存事業と海外事業の収益力の強化及び新規事業への戦略的投資を戦略の柱とする



2015年3月期の主な取組み

経営体質の強化を基盤とし、3つの戦略により成長を目指します

更なる成長

既存事業の
収益力強化

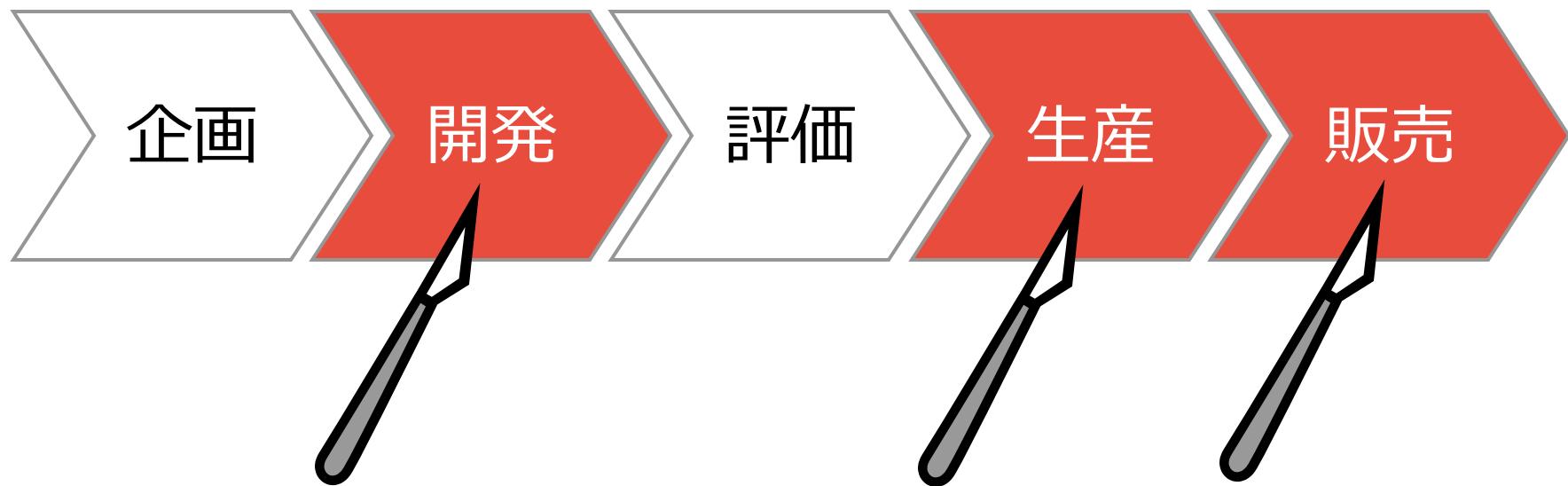
海外事業の
収益力強化

新規事業への
戦略投資

経営体質の強化

経営体質の強化

数値目標だけでなく、開発・生産・販売プロセスにもメスを入れ、徹底的にムリ・ムダ・ムラの排除を行い経営体質の強化を図る



プロセス改善を重点的に実施

既存事業の収益性の強化

個人向け市場



法人向け市場



メリハリをつけた事業推進

商品カテゴリを成長分野と成熟分野に分け、それぞれにメリハリをつけた事業方針を立て進める

QCDSの徹底強化

Q：品質(Quality)、C：価格(Cost)、
D：納期(Delivery)、S：サポート
(Support)を徹底する

海外事業の収益性の強化

地域を徹底的に絞り込み、かつ、高付加価値製品の販売強化を軸にグローバルニッチ戦略を推進する



目標海外NAS売上
前期比
約 **5** 割増



新規事業への戦略的投資

金融事業の開始

メルコフィナンシャルホールディングス(株)、Melco Capital Pte. Ltd.、メルコインベストメント(株)を設立し、メルコグループの収益力強化を目指す

ヘルスケア分野の開拓

これまで蓄積してきたネットワーク技術及びストレージ技術を活用し、ヘルスケア分野の開拓を目指す

M&Aの推進

事業拡大及び強化のため、M&Aを視野に入れ成長を目指す

2015年3月期 年間業績見通し

売上高：厳しい周辺機器市場に加え、海外事業の見極めにより減収

営業利益：海外における利益改善に加え、法人注力と商品力強化で販売構造を改善し、構造改革等でのムダの削減により増益

単位：億円	1403期 実績	1503期 (見通し)	前期比	差異
売上高	1,012	900	▲11.1%	▲112
営業利益 (率)	28 (2.8%)	50 (5.6%)	77.8%	+ 22
経常利益 (率)	36 (3.6%)	58 (6.4%)	61.7%	+ 22
当期純利益 (率)	21 (2.1%)	35 (3.9%)	65.4%	+ 14

2015年3月期 カテゴリ別売上高分析

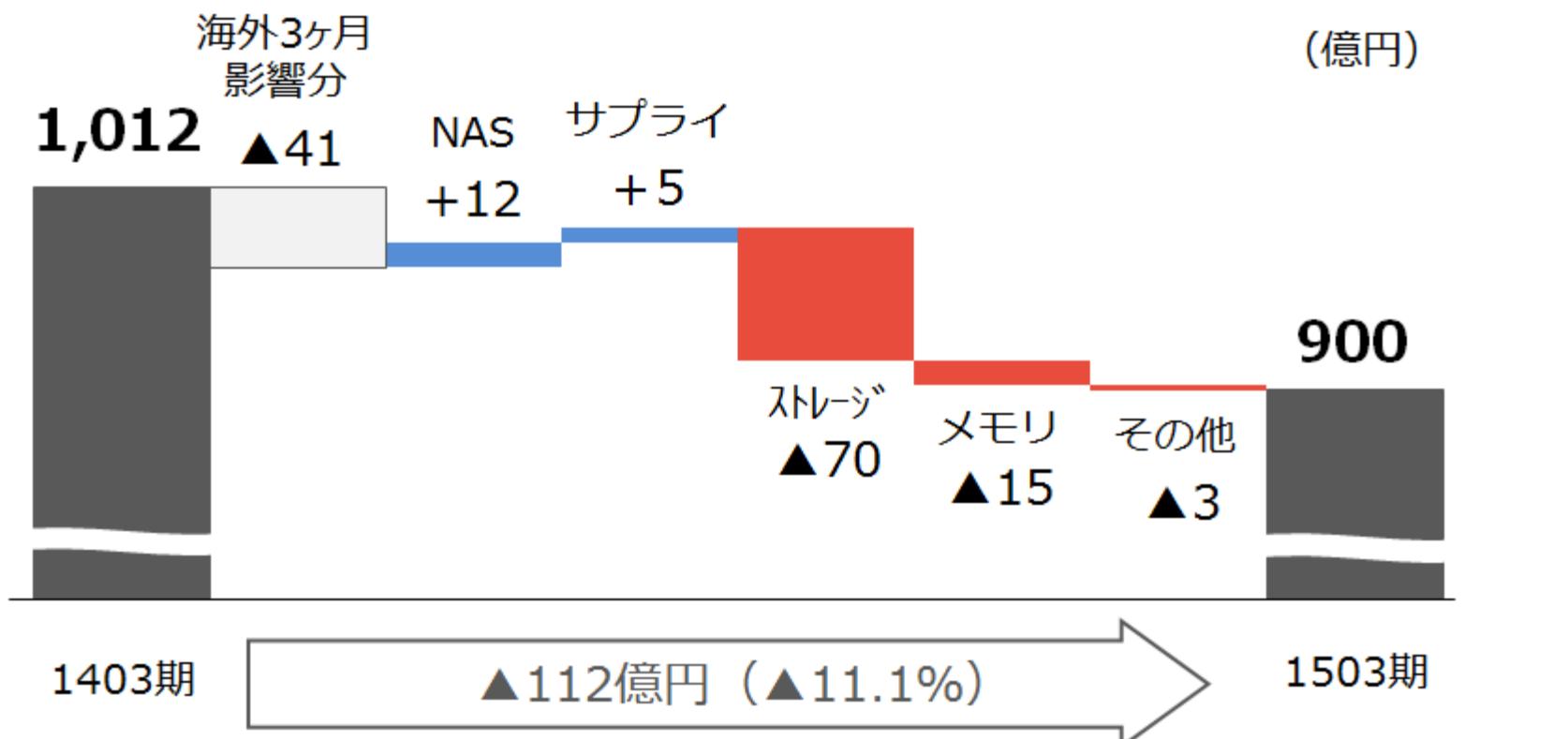
前期差112億円の減収、主な要因は以下の通り

主な増収要因

NAS：国内外での法人向け製品の販売強化

主な減収要因

ストレージ：国内での市場縮小及び海外での販売抑制

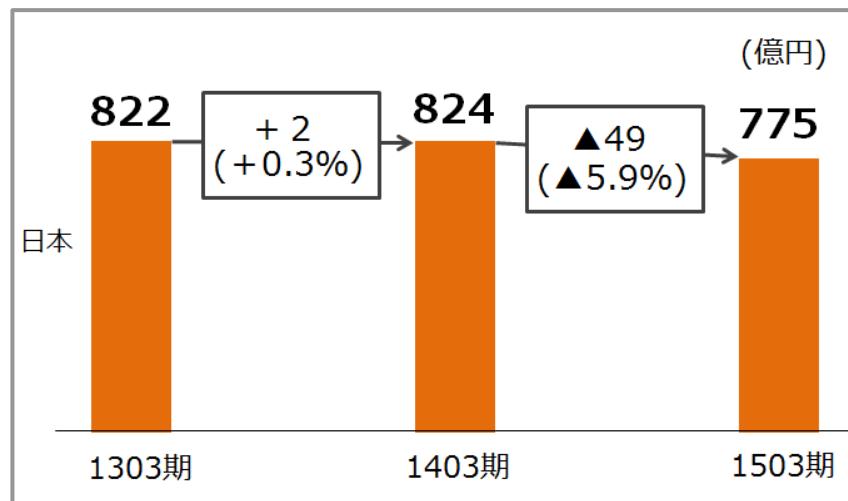


2015年3月期 地域別売上高見通し

単位：億円	日本	アジア・オセアニア	北米・中南米	欧州	合計
売上高 (前期比)	775 (▲5.9%)	25 (▲49.0%)	50 (▲21.9%)	50 (▲33.3%)	900 (▲11.1%)

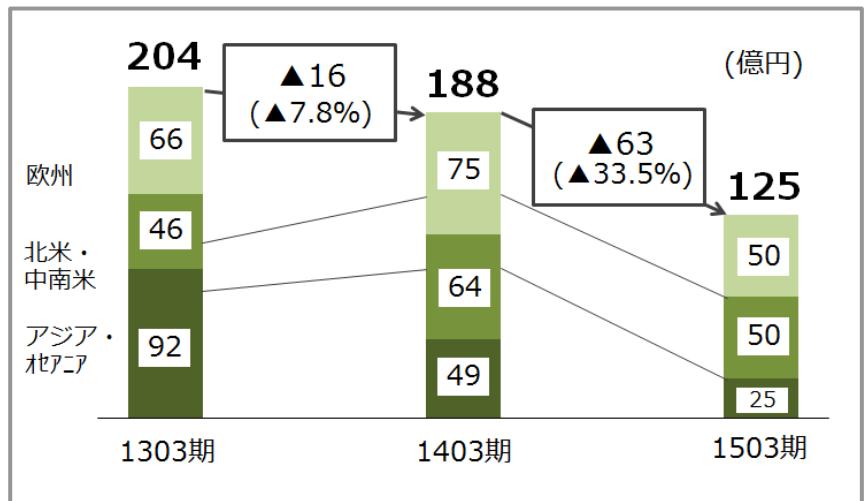
<日本>

パソコン及び薄型テレビの販売台数減により、周辺機器の売上が前期比約6%減



<海外>

決算日変更による3ヶ月分41億円に加え、法人シフトにより前期比約34%減



設備投資・減価償却費・研究開発費

単位：百万円	1303期 実績	1403期 実績	1503期 (見通し)
設備投資	627	1,385	1,036
有形	526	420	457
無形	101	964	579
減価償却費	1,240	862	872
有形	468	462	551
無形	772	399	320
研究開発費	3,530	3,410	2,418

メルコグループのご紹介

メルコグループ

メルコホールディングス 純粹持株会社

バッファロー

BUFFALO
iBUFFALO

中核となるブランドメーカーで
デジタル家電・パソコン周辺機器の
総合メーカー

シー・エフ・デー販売



ハイレベルな個人ユーザー向け

メルコフィナンシャルホールディングス

グループにおける金融事業の統括管理

バッファロー・IT・ソリューションズ

BUFFALO S.A.
SERVICE ALLIANCE

納入設定・設置・保守サービス

バッファローダイレクト

インターネットを活用した機器の販売

バッファローメモリ

電子部品・電子応用製品の開発・販売

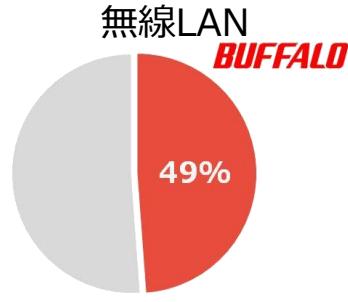
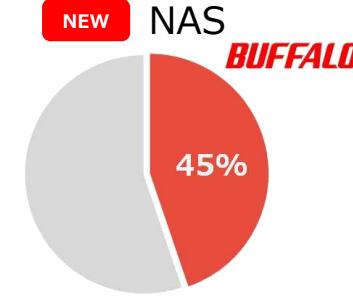
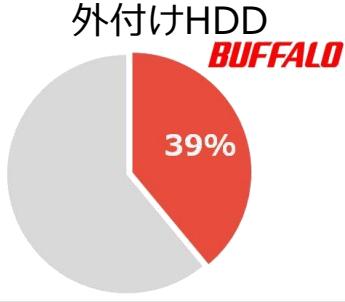
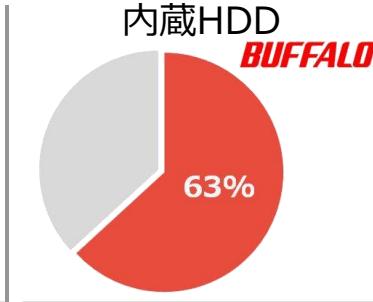
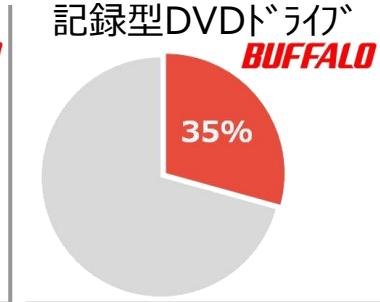
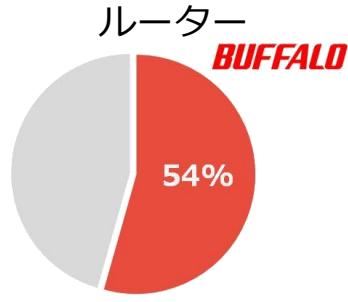
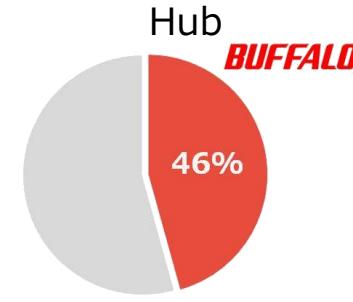
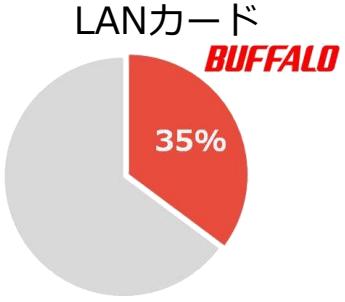
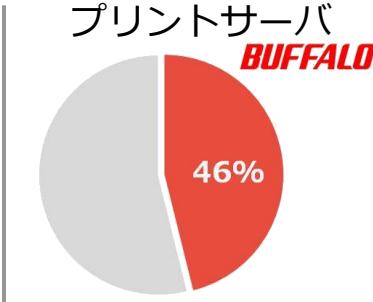
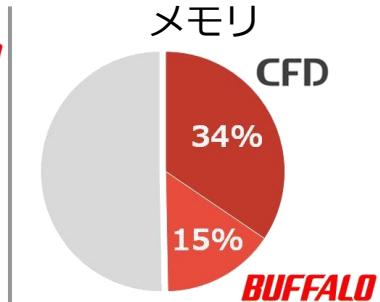
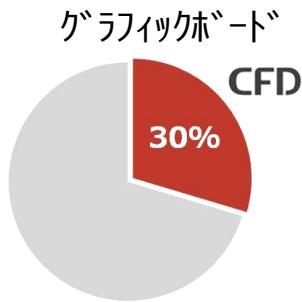
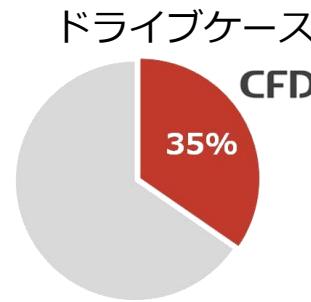
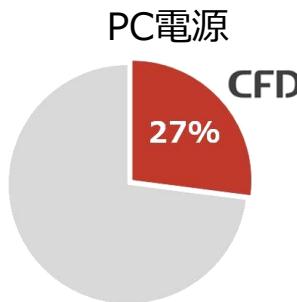
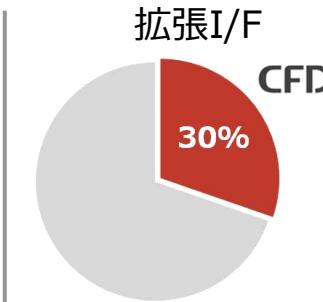
バッファローリース

アパートWi-Fiの販売やレンタル代行

[海外] Buffalo Americas 他

法人向けNAS・無線LANなどの販売

高い店頭シェアを誇り、多くの製品がシェアNo.1

無線LAN
BUFFALONAS
BUFFALO
NEW外付けHDD
BUFFALO内蔵HDD
BUFFALO記録型DVDドライブ
BUFFALOルーター
BUFFALOHub
BUFFALOLANカード
BUFFALOプリントサーバ
BUFFALOメモリ
CFDグラフィックボード
CFDドライブケース
CFDPC電源
CFD拡張I/F
CFD

BCNランキング（2013年4月～2014年3月までのデータを元に集計・加工）



BCNが実施する「BCN AWARD」において、バッファローで9部門、CFD販売5部門の計14部門で2013年1月～2013年12月集計のメーカー別販売数量シェア第1位であることを認定されました。

GfK Japan 調べでも高い店頭シェアを誇ります

USBメモリ

BUFFALO

22%

外付(据置型)HDD^{※1}**BUFFALO**

44%

ポータブルHDD^{※2}**BUFFALO**

37%

NAS^{※3}**BUFFALO**

50%

無線ルータ^{※4}**BUFFALO**

48%

有線ルータ^{※5}**BUFFALO**

66%

※1：外付（据置型）HDDは、『HDD』より「外付けタイプ」から
「据置」を抽出

※2：ポータブルHDDは、『HDD』より「外付けタイプ」から
「ポータブル」を抽出

※3：『HDD』より、「LANインターフェイス」から「ワイヤード、
ワイヤレス、他LAN」を抽出

※4：無線ルータは、『ルータ』より「伝送方式」から「共用」を抽出

※5：有線ルータは、『ルータ』より「伝送方式」から「有線」を抽出

全国の有力家電量販店販売実績を集計するGfK Japan調べ（2013年4月～2014年3月までのデータを元に集計） ※メーカー別販売数量シェア



GfK Japanが実施する「GfK Certified」において、HDD、DVDドライブ、
ネットワーク、USBメモリで2013年1月～2013年12月集計のメーカー別販売
数量シェア第1位であることを認定されました

伝送品質を極めた、ハイレゾ・オーディオNAS

一切の妥協を排し、持てる技術のすべてを集約。
マスターサウンドを楽しむための究極のオーディオ専用機器



<評論家・販売店・オーディオファンの方の生の声(例)>

“従来のNASからすると、まさに「音の革命だ」と快哉を叫びたい音だ。” 評論家A氏

“このNASは、さすがに違います。ここまで徹底すればこういう音がする、と言う見本の様なNAS。” 販売店B氏

“(△；△；△) マジ!?音が違います。不思議なことに音の解像度が違うんです。” 一般C氏

賃貸物件一棟まるごと無線化「アパートWi-Fi」

オーナー様の空室が埋まらない悩みを解消し、入居者様には通信費が節約できる嬉しい物件に変えるサービス



「アパート Wi-Fi」とは

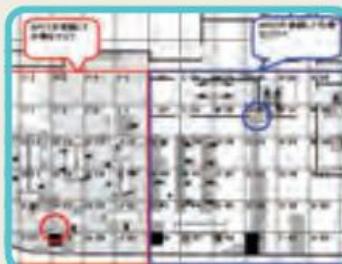
1本の光回線を同じアパートにお住まいの方でWi-Fiにて共有し、インターネットをご利用いただくサービスです。



事前調査・設置から**保守**までトータルでサポート



事前調査



無線LAN設計



設定・設置・工事



保 守

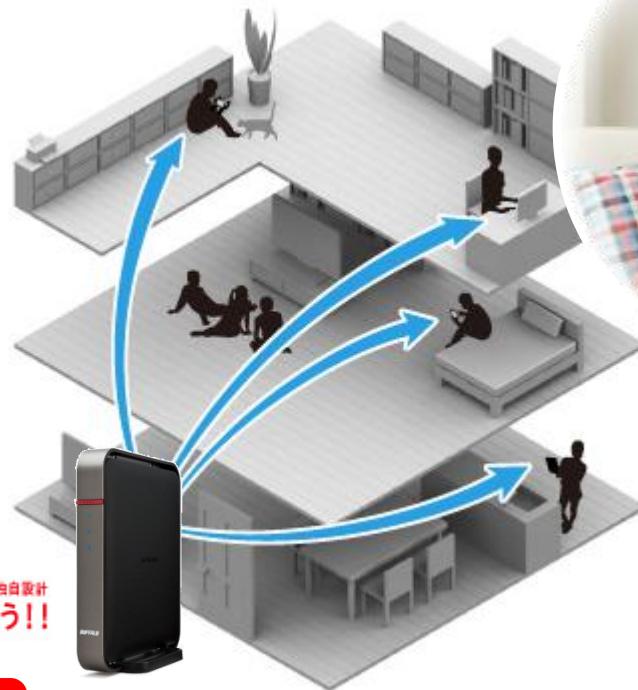
<ご契約オーナー様の生の声(例)>

“Wi-Fiの無料サービスは既存の入居者様にも喜んでいただけたようで、更新時期の3ヶ月前に設置工事のお知らせをしたところ、入居者全員が更新となりました。” オーナーA氏

“Wi-Fi付きですから、同じ家賃の他物件と比べてかなり有利になります。そのおかげかどうかはわかりませんが、空室がすべて埋まりました。” オーナーB氏

11ac無線LANで家中みんながサクサクつながる

3階の部屋でも電波がしっかり届き、家族みんなでつないでも超サクサクつながり、設定も驚くほど簡単



11ac

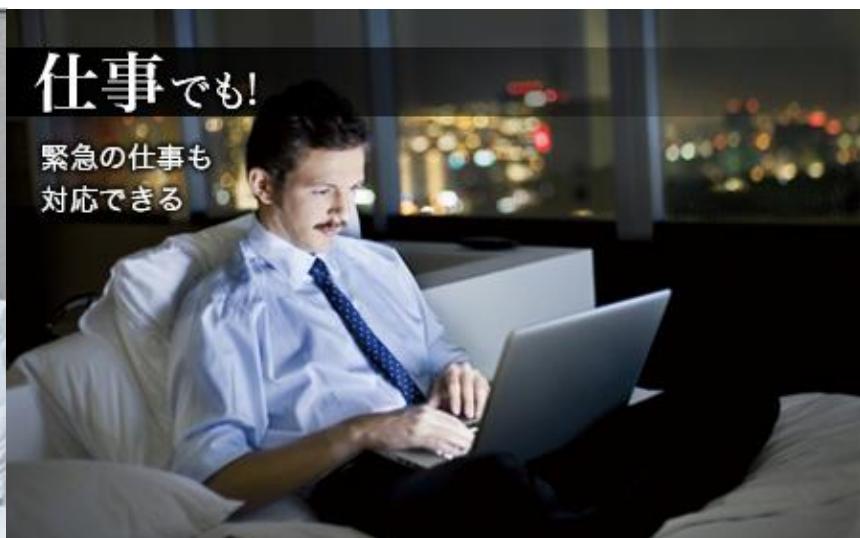
無線LAN
WZR-1750DHP2



出張先のホテルでWi-Fi化「11acWi-Fiルータ」

単三電池より軽いたった19g※のホテル用Wi-Fiルータ。
かばんに常備しておけば、有線LANを手軽にWi-Fi化

※11ac対応無線LAN親機として世界最軽量（2014/4、当社調べ）



スマホに保存せずにどこでも録画番組が見られる

DLPAリモートアクセス対応NASがあれば、どこからでもスマートフォンで録画番組の視聴が可能

ランチタイムに



電車の待ち時間に



グッドデザイン賞2013を受賞したポータブルHDD

万が一の落下でも安心の耐衝撃性能を持ち合わせつつ、外観にもこだわったフラットデザイン筐体



ポータブルHDD
HD-PNFU3シリーズ

駐車場に停めた車をスマホで探せる「見つCar～る」

遊園地やショッピングモールなどで駐車した車をiPhone等ですばやく見つけ、ルート検索もできる



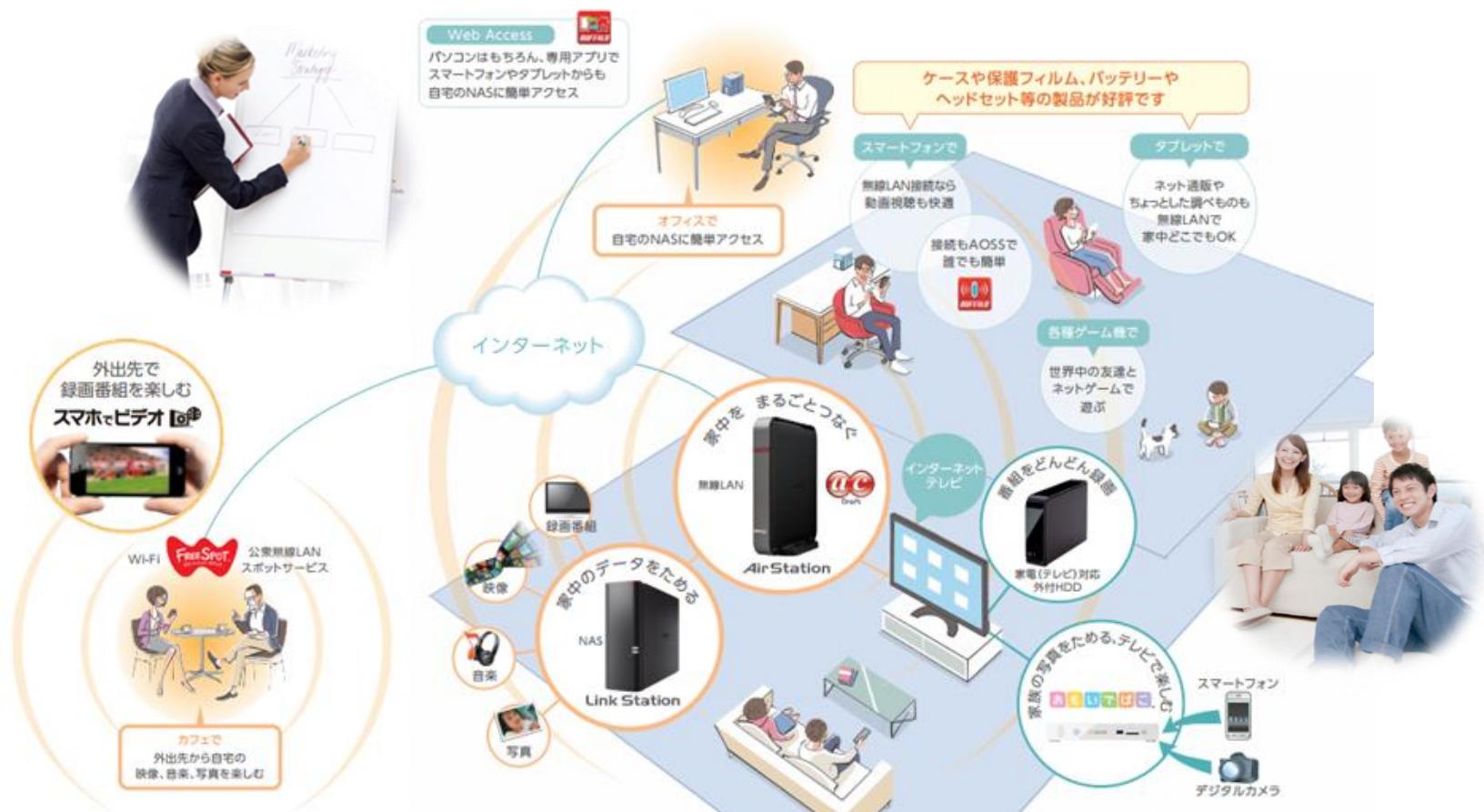
※場所の記録には、iPhone、iPadのGPSを使用します。

※車位置の特定精度は、お使いになられているiPhone、iPadの位置情報の精度、および、ご使用環境・天候等に依存します。

※立体駐車場では階数の判別はできません。

デジタル家電周辺機器の拡大を推進します

「デジタルライフ、もっと快適に」をモットーにスマートフォン・タブレットをより快適に使え、かつ価格競争力のある製品開発を行ってまいります



便利で豊かな社会の発展に貢献します

今後のメルコグループにご期待ください

本資料に関するご注意等

本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績見通しならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となることがあることをご承知ください。

＜お問合せ先＞

株式会社バッファロー 経営企画部

TEL : 050-5830-8865 / FAX : 050-5830-8867

E-mail : ir@melcoinc.co.jp